

バイオ燃料導入加速化事業

3,993百万円(2,956百万円)

地球環境局地球温暖化対策課

1. 事業の必要性、概要

欧米等では自動車用燃料へのバイオ燃料の混合を加速しており、我が国においても運輸部門における有力な排出削減策の1つとして推進する必要。

このような背景から、平成22年6月に閣議決定されたエネルギー基本計画では、バイオ燃料について、2020年に全国のガソリンの3%相当以上の導入を目指すこととされており、バイオ燃料を全国的に供給できる体制を速やかに構築する必要がある。

2. 事業計画(業務内容)

E3ガソリン本格普及事業(平成21年度～25年度)

実証事業から民間事業への移行を図るため、特定ブランド又は地域におけるガソリンの相当割合をE3化し、品質管理上自主的に取り組んでいる様々な事項への適合を確認しつつ、費用対効果ができるだけ高い方法を柔軟に検討。23年度は、ガソリンスタンドにおける準備を実施。

E T B E + エタノール混合車走行実証事業(平成23年度～25年度)

当面、E T B E 混合ガソリンとエタノール直接混合方式が併存することを想定した実走行試験を行い、排ガス性状等について検証するとともに、バイオ燃料の導入量の拡大とガソリン流通体制の簡素化の両立策を検討。

エコ燃料利用促進補助事業(平成19年度～25年度)

地産地消型のバイオエタノール流通体制を構築しようとする事業者の施設整備を補助(補助率1/2)。

3. 施策の効果

- ・バイオ燃料導入量の拡大

バイオ燃料導入加速化事業

運輸部門における有力な二酸化炭素排出削減策バイオ燃料の導入を加速

エネルギー基本計画で閣議決定された

「2020年に全国のカソリンの3%相当以上の導入」の目標を達成

E3ガソリン本格普及事業

実証事業から民間事業への移行を図るため、特定ブランド又は地域におけるガソリンの相当割合をE3化し、品質管理上自主的に取り組んでいる様々な事項への適合を確認しつつ、費用対効果ができるだけ高い方法を柔軟に検討



バイオエタノール製造



製油所における
バイオエタノール混合ガソリン
の製造



SS

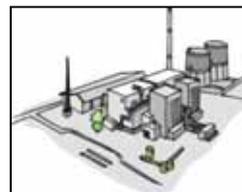
ETBE + エタノール混合車 走行実証事業

排ガス性能等を検証



エコ燃料利用促進補助事業

地産地消型のバイオエタノール
流通体制を整備



製造設備



混合設備



給油設備